



新吉田

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinyoshida>

横浜市立新吉田小学校

みんなで走ろう

校長 関谷 道代

朝、学校のそばで、ジョギングしている本校の保護者と子どもを見かけました。同じ色のトレーナーを着て、時々お母さんを見上げながら走る子どもの後ろ姿。何を話しながら走っているのだろう、と思いを馳せながら、なんだかあったかい気持ちになりました。

11月7日(火)、8日(水)、10日(金)、鶴見川の河川敷を全校児童が走る企画を4年ぶりに行います。自分に合ったペースで長距離を走るにより、体力の向上を図り、完走する喜びを味わうことを目的とした取組です。現在、朝や休み時間を活用して、ペア学年と一緒に当日までの体力をつける「みんなでペース走」を実施しています。

実は、「みんなで走ろう」は、本校が創立した昭和46年度から「持久走」として続いている伝統的な行事です。昭和51年2月に実施した記録写真を見ると、かつては、学校をスタート地点として学校の周りの道路を走っていた時代もありました。交通量が多くなってきて、こういった行事をなくしていく学校が多い中で、本校は、鶴見川の河川敷という恵まれた環境があるため、それを生かして続けてきたという経緯があります。

先日は、職員室でこんな話を聞きました。
「私は、家族みんなで走る姿を見ました。子どもは泣きながら走っていましたが・・・。」

お父さんやお母さんからの「行くよ！」の勢いがあったのかな。
子どもは、もう少し寝ていたいと思っていたのかな。
走りながら、お腹がすいたのかな。

いろんな想像が膨らんで、そして、平和な家族の姿を思い浮かべました。

「みんなで走ろう」の「みんな」が、友達であったり、ペアであったり、家族であったり……。一つの目標に向かって、様々な場面で、様々な人と一緒に頑張ること。
「しんけん なかよし だいすき」の心意気です。

当日は、土手の上からの保護者や地域の方々の見守りや声援が、子どもたちにとって、大きな力となることを期待しております。

11月もどうぞよろしくお願いいたします。



【当時は、校庭から一斉にスタートしていました】



【学校付近の道路を走る様子】

2枚の写真は、昭和51年3月15日発行
PTA 広報委員会 会報「しんよしだ」第12号より